

鳥取城跡擬宝珠橋復元完成へ

鳥取市では、中心市街地の中核をなす観光地として魅力を高めるため、江戸時代における鳥取城の正面玄関・大手登城路の復元整備を行っています。このうち、国史跡の城跡における復元橋としては日本最長となる擬宝珠橋が、いよいよ完成します。

問い合わせ先 第二庁舎文化財課 ☎0857-20-3359
☎0857-20-3050



擬宝珠橋の歴史

擬宝珠橋は、1621年（元和7）に、池田光政によって創建されたものです。幾度か架け替えの後、1868年（明治元）に最後の架け替えを経て、1897年頃（明治30）まで存続しました。

橋長は約36メートル及び、国内12番目の規模を誇った鳥取藩32万石の大手橋に相応しいものです。この橋は、鳥取城の正面玄関の入口で、藩領各地への距離の起点にもなっていました。また、橋の上では、端午の節句には若殿が陣取り、堀端で繰り広げられる「幟（のぼり）ねり」（馬に乗った武士を町人が竹やりなどで威嚇する祭り）を見物したり、夏の夜には納涼の宴が催されたりするなど、儀礼の場としても活用されました。

【今後の復元整備スケジュール(予定)】

| 工事名 | 年度 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-------------|---------|------|------|------|------|------|------|
| 大手登城路復元工事 | 擬宝珠橋 | | | | | | |
| | 中ノ御門 | | | | | | |
| | 太鼓御門 | | | | | | |
| | その他外構整備 | | | | | | |
| 市道山の手通り整備工事 | | | | | | | |
| 桜の名所再整備工事 | | | | | | | |

東部圏域の未来へ発展すべく中核市に移行した記念すべき年にあたります。各時代において擬宝珠橋は新たな時代への架け橋のように架け替えられてきました。

この新時代の指標ともいえる擬宝珠橋の竣工記念式典を平成30年9月30日に開催します。当日は、鳥取藩主池田家16代当主・池田百合子さんのテープカットのほか、明治維新において鳥取藩に付属し、近代国家形成へ大きな功績を挙げた丹波国桑田郡山国郷（現京都市右京区京北町）の農兵隊「山国隊」の末裔の方々が、

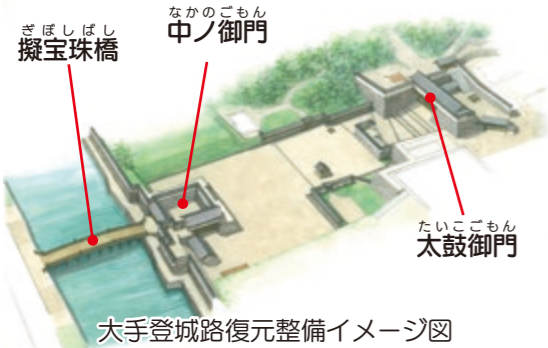
その他の関連工事

150年の時を経て鳥取城に初めて凱旋行進する予定です。

本市では、擬宝珠橋の完成後、引き続き中ノ御門などの建物復元に着手し、鳥取城跡が近代公園として整備された1923年から1940年にあたる2023年頃に大手登城路全体の復元を完了する予定です。また、これに合わせて、市道山の手通り（お堀端通り）の景観整備工事を2019年度の完成を目指して実施しています。さらに、市民のみなさんにもご協力頂き5月に策定した『史跡鳥取城跡（久松公園）サクラ管理計画』に基づき、サクラの名所の再整備工事も行います。なお、国指定史跡としての文化財保護や景観保全のための石垣修理や樹木伐採などは適宜、実施していきます。



擬宝珠橋完成イメージ図



大手登城路復元整備イメージ図

大手登城路周辺では引き続き復元工事を継続するため、擬宝珠橋の開放は9月30日11時～16時までとします。これ以降の擬宝珠橋の開放については、工事の進捗に合わせて不定期に実施する予定です。

市道山の手通り街なみ環境整備事業による駐車帯の廃止について

本市は、鳥取市景観計画に定める「久松山山系景観形成重点区域」の中心に位置する当該区域において、城下町の面影が伝わる景観形成の実現を目指し、平成29年度より市道山の手通りの景観整備工事を行っています。

【整備内容】

- ①歩車道的美舗装、②電線類の地中化、③お堀側歩道の改良及び住宅側歩道の拡幅

【廃止内容】

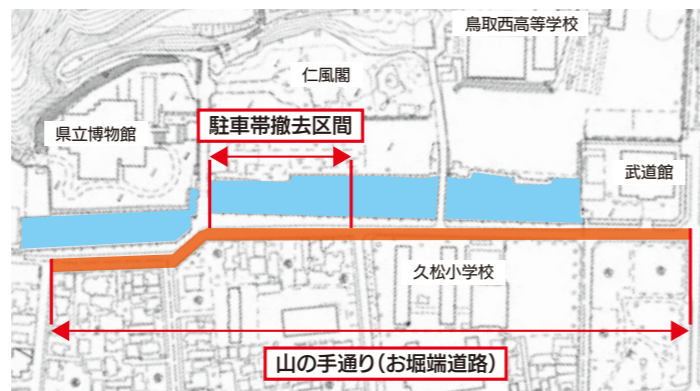
駐車帯のうち、宝珠橋から擬宝珠橋までの区間（普通車15台）を廃止。なお、駐車帯の廃止は、平成30年10月頃を予定。

山の手通り街なみ環境整備事業に関して 本庁舎道路課

☎0857-20-3263 ☎0857-20-3048



市道山の手通りの整備後イメージ図



駐車帯撤去区間

山の手通り(お堀端道路)

鳥取城跡擬宝珠橋復元関連イベント

【イベント①】 中核市移行記念・明治150年記念 史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事竣工 記念式典及び現地説明会

日時 9月30日(日) 10:30～ 記念式典 11:00～ 山国隊凱行進(渡り初め) 13:30～ 現地説明会



山国隊凱行進

【イベント②】 工事現場展望デッキの開放

日時 8月16日(木)～9月15日(土) ※期間中、日曜日を除く 9:00～16:00

内容 擬宝珠橋北側の展望デッキから復元の様子を見学できます。 注意 ヒールやサンダルでの入場はご遠慮ください。

【イベント③】 鉋削り体験イベント

内容 擬宝珠橋復元に関わる大工さんが鉋削りを伝授します。

日時 9月1日(土)、8日(土) ①9:00～、②10:00～ ③11:00～、④13:00～ ⑤14:00～、⑥15:00～

対象 予約不要、各時間先着40名(小学生以下の場合は保護者同伴)



鉋削り体験

必見! 150年ぶりの架け替え工事

擬宝珠橋として最後の架け替えが行われたのは、今から150年前のことです。そして、今回の復元完成後、次回の擬宝珠橋の架け替えは、半世紀以上先になる計画です。さらに、擬宝珠橋のような長大な木橋が復元されることは国内でもきわめて稀な機会となります。

北側の堀内に展望デッキを設けました。8月16日から9月15日まで、日曜日を除いて展望デッキを開放しますので、ぜひ工事の様子を間近でご覧ください。

竣工記念式典の開催

江戸時代、擬宝珠橋の最初の架橋は、城が鳥取藩32万石の居城となったとき、一方、最後の架橋は日本が近代国家へ歩み始める明治元年でした。そして、今年、本市が山陰